**恵泉教会木曜祈祷会**

**リジョイス3月26日　通読：ヨブ記12章**

**1. ヨブ記12章の背景と文脈**

11章で三番目の友人ツォファルがヨブを非難しました。ツォファルは「神の知恵は測り知れないのだから、お前が苦しむのは隠れた罪があるからだ。悔い改めれば回復する」と、典型的な「因果応報（良いことをすれば祝福され、悪いことをすれば罰される)」の神学を振りかざしました。12章は、それに対するヨブの反論の始まりです。

**皮肉を込めた反論（1〜3節)**：ヨブは友人たちの高慢さを皮肉ります。

「 確かにあなたたちもひとかどの民。だが、死ねばあなたたちの知恵も死ぬ。」（ヨブ記 12:2）

ヨブは、「自分だけが神の知恵を知っている」と勘違いしている彼らに対し、「私にもお前たちに劣らない理解力がある」と反論します。

**苦難の現実と安逸な者の冷酷さ（4〜6節)**：ヨブは、正しい者が笑い者にされ、逆に強盗の幕屋（悪者）が平穏無事であるという「理不尽な現実」を突きつけます。安らかな生活を送っている友人たちには、苦しむ者の本当の痛みが理解できていません。

**被造物が証しする神の主権（7〜12節)**：ヨブは、獣や鳥、魚でさえ、このすべての災いをもたらしたのが「神の御手」であることを知っていると語ります。

**人間の力を解体する神の力（13〜25節)**： 後半でヨブは、神の主権がいかに圧倒的であるかを語ります。神は王の帯を解き、祭司を裸で歩かせ、確かなものを打ち壊します。神の支配は、人間の小さな理解の枠（因果応報）には到底収まりきらない巨大なものです。

**2. ヨブ記12章の中心主題**

この章には、「安易な神学（正論）の残酷さ」と「人間の理解を超えた神の絶対主権」という重いテーマが含まれています。

**「正論」は人を救わない**：友人たちの言う「神は正しく裁く方だ」という教理そのものは間違っていません。しかし、それを「だからお前が悪いのだ」と機械的に当てはめることは、苦しむ者への暴力となります。

「人の不幸を笑い、よろめく足を嘲ってよいと／安穏に暮らす者は思い込んでいるのだ。」（ヨブ記 12:5）

安全圏にいる者が語る「神学」は、しばしば冷酷です。

**絶対的な支配者としての神**：ヨブは友人たち以上に神の主権を高く掲げます。

「すべての命あるものは、肉なる人の霊も／御手の内にあることを。」（ヨブ記 12:10）

神は、私たちが期待するような「良いことだけをしてくれる神」ではなく、時には私たちの築いたものを打ち壊し（14節)、人間の知恵や権力を無にする、畏るべき主権者です。ヨブはこの「不可解で恐ろしい神」から目を背けず、真正面から向き合おうとしています。

**3. 黙想と適用のための質問**

**①安全圏から「正論」を振りかざしていませんか？**

友人たちは自分たちが健康で安全な場所にいるため、ヨブの苦しみを「原因（罪）と結果（罰)」という簡単な公式で処理しようとしました。

（苦しんでいる人、失敗した人に対して、「祈りが足りないからだ」「信仰が薄いからだ」と、自分の小さな物差しで裁いたり、安易な答えを押し付けたりして、相手をさらに傷つけてしまったことはありませんか。）

**②「すべての命は御手の中にある」と委ねていますか？**

ヨブは、自分に降りかかった理不尽な苦難も含めて、獣や鳥でさえ「主の御手がこれをなされたこと」(9節）を知っていると語り、すべての命が神の御手にあることを認めました。

（今、自分の理解を超えた困難や理不尽な状況に直面しているとき、それでもなお、自分の命と人生のコントロール権が「神の御手の中にある」と信じて、委ねることはできますか。）

**③「打ち壊す神」を礼拝できますか？**

14節以降、ヨブは神が「打ち壊す」方であり、人間の知恵や権力をはぎ取る方であると語ります。神は私たちの計画通りに動く「便利な神」ではありません。

（自分の計画が崩れたり、築き上げてきたものが失われたりしたとき、それでもこの圧倒的な主権を持つ神様を恐れ敬い、礼拝し続ける信仰を求めていますか。）

**4. 祈り**

　すべての命を御手の中に握っておられる主なる神様、

ヨブ記12章を通して、人間の小さな知恵や「因果応報」という枠組みには到底収まりきらない、あなたの圧倒的で不可解な主権の大きさを教えられます。

　私たちは時としてヨブの友人たちのように、自分が安全な場所にいるときには、苦しむ他者の痛みを理解せず、冷たい「正論」や安易な言葉で裁き、傷つけてしまう罪深い者です。どうか、私たちの高慢さを砕き、他者の痛みに寄り添うキリストの憐れみの心を与えてください。

　また、私たちの人生には、なぜこんなことが起きるのか理解できない理不尽な苦難や、築き上げたものが打ち壊されるような絶望の時があります。そのような時でも、「すべての命あるものは、肉なる人の霊も／御手の内にあることを」というヨブの告白を、私の告白とさせてください。

　自分の思い通りに動いてくれる神ではなく、絶対的な主権者であるあなたを、ただそのまま畏れ敬い、礼拝する真実な信仰をお与えください。

　私たちのすべての弱さを負い、理不尽な十字架の苦しみを通って救いをもたらしてくださった主、イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。